

男女共同参画地域防災体制づくり事業について

1 経緯と現状

東日本大震災を契機に、避難所等における男女のニーズの違いなど男女双方の視点への配慮の必要性が再認識されたところである。

しかし、現実には、防災分野における女性の参画は進んでおらず、女性の視点やニーズが反映されにくい現状であることから、男女が共同で災害に対応できる地域づくりとその重要性についての意識啓発が必要である。

2 事業の概要

(1) 防災対策における男女共同参画モデル事業

モデル地域 2 カ所（青森市、おいらせ町）においてワークショップ実施

- ・テーマ「安心できる避難所をつくろう！」
- ・男女共同参画の視点からの課題とその解決策について検討
- ・避難所ワークショップを含め、各計 5 回
- ・メンバー構成：町内会（自主防災組織）、地区 P T A、婦人会、民生委員、区市町担当等

(2) 男女の視点を取り入れた安心避難所づくりハンドブックの作成・配布

防災（復興）における男女双方の視点の重要性など意識啓発を行うとともに、各市町村において自主防災組織の結成や防災訓練等の際に指針とするなど、防災分野における男女共同参画を促進させる。

(3) 講演会の開催

テーマ：みんなでつくる安心して過ごせる避難所

～男女共同参画の視点から～

開催日および場所：平成 24 年 12 月 8 日（土）アピオあおもり

参加者：県内自主防災組織・町内会・消防・福祉関係者等（約 120 名）

【事業担当：青少年・男女共同参画課】